

スウェーデンの野外教育における 3 組織の協力

スウェーデンでは、野外教育を推進する組織が3つあり協力関係を持っています。それらは、国立野外教育センターと自然学校協会と野外生活推進協会です。

(www.utenavet.se)

スウェーデンの野外教育界を代表する 3 組織

<p>リンショッピング大学 国立野外教育研究所 所長 アンダシュ・セパンスキー Anders Szczepanski www.liu.se/ikk/ncu</p> <p>学校との位置づけ: 大学と大学の研究レベル 学士と修士の講座。</p>  <p>Nationellt centrum för utomhuspedagogik</p>	<p>野外生活推進協会 本部 シャステイン・アンダーソン Kerstin Andersson www.friluftsframjandet.se</p> <p>学校との位置づけ プレスクールと小学校がある</p>  <p>FRILUFTS FRÄMJANDET</p>	<p>自然学校協会 (自治体が経営する自然学校が代表的である。例 Nynäshamn Falun と Halmstad の自治体) Mats Wejdmark, Robert Lättman Mia Bucht, Irene Bergman www.nynashamnsnaturskola.se www.naturskola.se</p> <p>学校との位置づけ プレスクーと小学校対象</p>  <p>ATT LÄRA IN UTE Naturskoleföreningen</p>
---	--	--

国立野外教育研究所 (NCU)

リンショッピング大学

国内、国外において野外教育の研究と教育をしている。リンショッピング大学の教師教育課程のプログラムにおいて 30 単位を美学、健康、自然と文化環境の分野で専攻して取得することができる。また自然科学、言語、数学の科目の中でも講座がある。NCU は、1993 年より講座を始め、ヨーロッパやアジア、アメリカ、カナダ、ニュージーランドでも講座を持ったことがある。野外教育においてコメニウスプログラムもある。ツーリズムやリクレーションのインストラクターの講座もある。それらは、30 と 60 単位の講座になる。学士と修士のプログラムは、特に青少年の健康について学ぶことができ、その分野では、医学部と哲学部と協力をしている。

<http://www.liu.se/ikk/ncu/presentation?l=en>

野外生活推進協会

野外生活推進協会は、国民の健康と生活の質を高めるためにスキーやその他の野外活動を 1892 年から推進している NGO である。野外生活推進協会の森のムッレ教室と野外プレスクール（晴天にも関わらず）は、体験型の野外活動、野外教育をプレスクールと小学校、学童保育園において実践している。野外生活推進協会の教育方法は、子どもたちが自然の中で自然について学び、遊びと冒険そして原体験を基盤にして学ぶ教育方法である。協会は、スウェーデンと日本において、リーダー養成講座を実施している。日本の協会は、1992 年から活動をしており、45 県に森のムッレのリーダーがいる。日本野外生活推進協会本部の会長は、高見豊。メール・tomten@lily.ocn.ne.jp

自然学校協会

自然学校協会は、1986年に発足した野外教育の NGO である。協会は、「野外で学ぶ」ということをモットーとしている。会員は、個人の教師であったり、自然学校あるいは小学校、保育園のような団体の場合もある。1年に4回、会報を発行している。ほとんどの自然学校が、スウェーデンの自治体経営で、スウェーデンの学校のカリキュラムにそって学校の授業の支援をしている。スウェーデン全国の 290 の自治体の中の 90 自治体にある。自然学校は野外教育を普及するために教師の研修もしている。ニーネスハム自然学校では、野外教育の教材も開発している。